

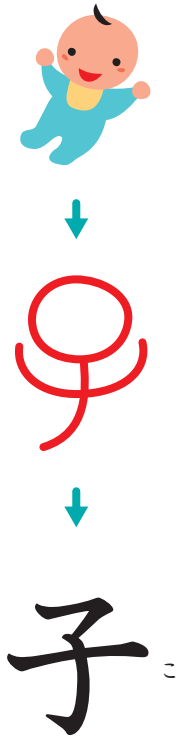
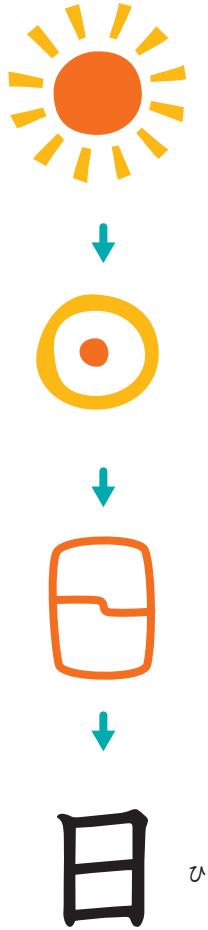
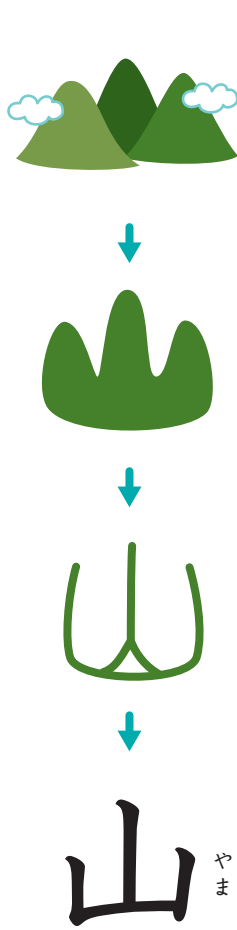
漢字の成り立ち

古代中国で作られた漢字は、全部で十万字以上もある、世界で最も文字数が多い文字で、小学校で習うのは、そのうちの約千文字、普段生活で使う常用漢字は、約二千文字です。漢字は、その作られ方から、「象形文字」「指事文字」「会意文字」「形声文字」の四つに分類されます。それぞれの成り立ちを見てみましょう。

象形文字

物の見たままの様子をかたどった形をもとにした文字。

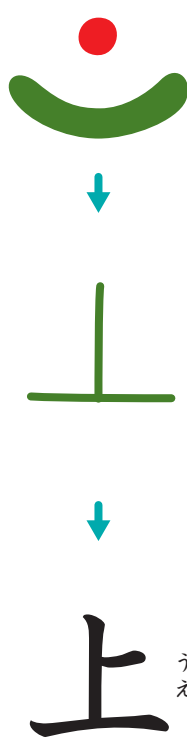
例 雨・火・月・車・手・人・水・川・牛・馬



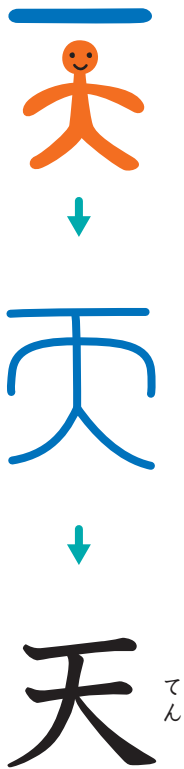
指事文字

形のない物事を線や点などを使って表した文字。

例 一・二・三・中・本・立



指事文字の中には、「天」のように、象形文字に点や線を加えて作られたものもあります。



手足を広げて立つ人の形の象形文字の上に線を加えて、空の高いところを表している。



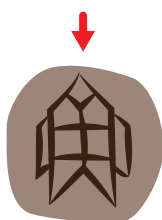
漢字の歴史

漢字は三千年以上も前に中国でつ
くられました。最初は絵のようだっ
た文字が、現在使われている漢字
の形になるまで、どのように変化し
てきたのでしょうか。



絵文字 (六千年前位)

文字ができる前は、何かを伝えたり
記録するのに、絵が使われた。



甲骨文字 (殷の時代)

動物の骨やカメの甲羅に占いの
結果を刻んだ直線的な文字。



金文 (殷の終わり~周の時代)

青銅器に刻まれた文字。



篆書 (秦の時代)

金文をもとに字体を統一した文字。
秦の始皇帝が公式書体とした。



隸書 (漢の時代) ~ 楷書へ

篆書を直線的にした隸書から、
さらにそれを整えた楷書へと
変化し、現在の形になる。

中国最古の
文字だよ!

何千年もかけて、
現在の漢字の形に
なったんだね。

口 + 鳥 → 鳴

「口」と「鳥」が組み
合わさり、鳥が声を
出すことを表す。

田 + 力 → 男

「田」と「力」が組み合
わり、田んぼで力仕事
をする「おとこ」を表す。

山 + 石 → 岩

「山」と「石」が組み
合わさり、山にある
大きな石を表す。

例 信・林・休・名・多・間

二つ以上の漢字を組み合わせ、それらの意味を合わせた文字。

会意文字

海

「シ」は水を表す
「每」は「カイ」の音を表す

味

「口」は口で味わうことを表す
「未」は「ミ」の音を表す

草

「艹」は広く植物の草を表す
「早」は「ソウ」の音を表す

例 花・校・銅・材・根・絵

意味を表す部分と音を表す部分を組み合わせた文字。

形声文字

…意味を表す部分

…音を表す部分

漢字の約8割が
形声文字だよ!

※漢字の成り立ちには様々な説があり、辞典や教科書によっては、この
ポスターに示したものと異なる分類とされている場合もあります。